

# 令和6年度入学試験問題

## 外国語

### フランス語

150点満点

〈配点は、一般選抜学生募集要項に記載のとおり。〉

#### (注 意)

1. 問題冊子および解答冊子は監督者の指示があるまで開かないこと。
2. 問題冊子は表紙のほかに5ページである。
3. 問題は全部で3題ある(1～5ページ)。
4. 試験開始後、解答冊子の表紙所定欄に学部名・受験番号・氏名をはっきり記入すること。表紙には、これら以外のことを書いてはならない。
5. 解答は、すべて解答冊子の指定された箇所に記入すること。
6. 解答に関係のないことを書いた答案は無効にすることがある。
7. 解答冊子は、どのページも切り離してはならない。
8. 問題冊子は持ち帰ってもよいが、解答冊子は持ち帰ってはならない。

外国語（フランス語）については3題のうち、Ⅲのみ公開する。

## Ⅲ

次の文章をフランス語に訳しなさい。

(50点)

自然科学は新しい発見がどんどん生まれる世界です。自然の不思議を解く醍醐味を知った者にとって、新しい事実を発見したり、それまで謎だった問いに対する答えが閃いたりしたときの喜びは格別に違いありません。しかし人文・社会科学の世界では新しい発見など、そうはありません。世界中を見回しても一世紀にいくつと数えられるほどでしょう。自然科学と同じ意味で学問の役割を評価するならば、人文・社会科学は何の役にも立ちません。

しかしそれでもよいではありませんか。時間が許す限り、力のある限り、自分自身の疑問につき合っ<sup>て</sup>ゆけばよい。文科系の学問は己を知るための手段です。あなたを取り囲む社会の仕組み、あなたがどのように生きているのかを知る行為にすぎません。

(小坂井敏晶『社会心理学講義』より)

問題は、このページで終わりである。